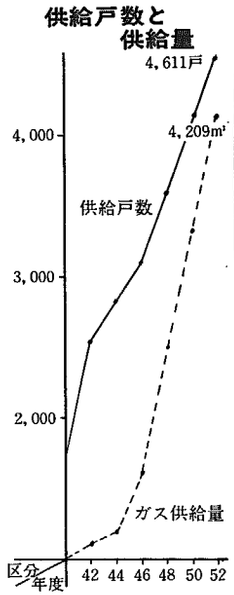
ピンチ!!ガス事業会計

供給戸数三倍に

黒埼町のガス事業は昭和四十年十二月供給戸数一千六百世帯を目標として事業を開始しました。

その後、地盤沈下をきたすという理由で自家用ガスの発掘が規制され、逐次都市ガスに移行する世帯が増加したことや、生活文化の向上により各種のガス器具が普及したこと、さらに新潟市の郊外住宅地としての立地条件の良さから、住宅建設が急激に進んだこと。

そのうえに国道八号線の所要地点に官公庁をはじめ会社や工場などが進出してきたため、ガスの供給戸数は供給量とともに年々増加の一途をたどって現在に至りました。



このままだと三千万円の赤字

一方、経営状態においては、原料である天然ガスの購入価格が比較的低廉であったことと、年々増加する需要に支えられ、事業開始から昭和五十一年度までの十二年間は健全財政を維持しながら経営してきました。

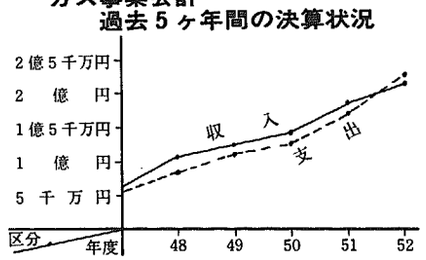
ガス料金については昨年の七月事業開始以来始めて料金改定を行ない、その増収に努めてまいりましたが、経済不況や暖冬などによりガスの販売量が伸び悩み、昭和五十二年度の決算では表にみられるように収入より支出が上回り、ついに七百六十六万四千円の赤字となってしまいました。

このままで推移すると今年は約三千万円の赤字になる計算になります。その理由は本年の四月から原料ガスが約二三%上昇したことが最も大きな要因です。

この他にガスが順調に供給できるよう、ガスホルダーの建設や配管網の整備を図ったり、施設を改善するために大蔵省などから借金（企業債）が約二億四千万円もあるのです。これは大変なことです。

しかし赤字だからと云ってガス事業を休む訳にはまいりません。他の公共事業などであれば国や県から補助金がありますが、ガス事業にはそれがなく独立採算制であります。従ってガス事業における支出はすべてガス料金によってまかなわなければなりません。

このような借金や人件費、そして物件費の上昇などにより、今後ガス事業の経営状況は益々悪化することが予想されます。



供給の安定と企業努力は続けます

近隣市町村のガス料金

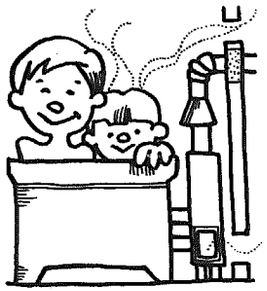
（10,000キロカロリー：1m³につき）

新潟市	73円15銭
白根市	79円01銭
吉田町	71円75銭
分水町	74円75銭
小須戸町	68円16銭
西川町	66円70銭
黒埼町	**50円37銭**

ガス事業は電気や水道などと同じ公益事業であり、現在の生活様式から一時も欠かすことが出来ない重要なものです。そのため企業職員は昼も夜も、盆も正月もなくガスの安全確保に、また安定供給に、そして少しでも安い料金でをモットーに住民サービスの向上のために最善の努力を続けております。

しかし慈善事業でない限り赤字経営は許されるものではありません。企業努力にも限度があります。企業である限り適正な料金を徴収し、そして適正な利潤を生みそれを目的遂行のため需要家のみなさまに還元していかなければなりません。

企業課では、これらの使命達成のため今後一層の努力をする所存でありますので、みなさんの特段のご理解とご協力をお願い申しあげます。



私の体験

善久　田辺幸夫

四十五年七月二十四日、突然二回目のくも膜下出血の大発作に見舞われる。三十一歳でした。すぐよくなるだろうという考えで入院治療に専念。その時、結婚して八ヵ月、妻は妊娠四ヵ月でした。

入院して一ヵ月が過ぎ、二ヵ月が過ぎても自分の考えていたような回復はみられず、それどころか身体の動きは思うにまかせず、左半身マヒ、言語障害と奈落の底におとされてしまいました。二十五歳で、第一回目のくも膜下出血発作の時は元通りの身体に回復したので、その気持ちがとれず、回復を待っていました。

しかし、二回目の発作で気持ちも沈みがちになっていた四ヵ月目のある日、中気に「灸」がよいと聞いて、早速実施し、三日間続けてみたところ、今まで肩までしかあがらない手が上まであがるようになり、指も動かしてみた、動く。少しではあるが物をつまむことも できる。「灸」が効いたんだ。あの感激は今でも忘れることのできない喜びです。

八年を経過した現在でも訓練は欠かしていません。一日一回階段の昇降、二ポンドのバーベルで腕の運動、一日二回の散歩などです。

今、私の生きがいは、電話を利用して、入院当時の同病者たちと近況を話し合い、励まし合うことです。その時いつも感じることは、自分と同じ考えでいるんだなぁ―ということです。

私の体験から、病気というものは、突然やってくるもので、健康な時は「私は大丈夫」という考えがあるため、血圧が高くとも発作があるまで忘れている。今、不自由な毎日を送ってみて、あらためて病気の恐しさをしみじみと感じています。

今は、妻と子どもに守られ、自分のことは自分でするようにと、常日頃、自分に言い聞かせながら身体と気持ちが一致しないジレンマの中で、今後、仲間づくりに生きがいを求めていきたいと思っています。

親和会報より抜粋

「人権」標語を募集

人権はどのように守られ、尊重されているか、基本的人権の擁護及び自由人権思想の普及も、一人一人の正しい考え方が最も大切であります。

日頃どんな心掛けで実行したらよいか、みなさんの考え方を標語によりおたずねします。優秀作品は「町の人権標語」として採用し、人権思想の啓発、普及に大いに活用する予定です。

明るく住みよい町を造るため、次の要領で、応募下さい。

○募集期間　八月一日から九月十五日まで

○対　象　町内在住者に限る（一人何点でも可）

○提出先　役場総務課

○賞

最優秀一点（一万円）優秀三点（各五千円）優良六点（各三千円）佳作十点（各千円）

○標語のきまり

簡潔で理解しやすいもの

五・七又は七・五の二段書きおろしとする

○主催

黒埼町、新潟人権擁護協議会